

栃木県農業総合研究 センターニュース

No. 10
2026.8

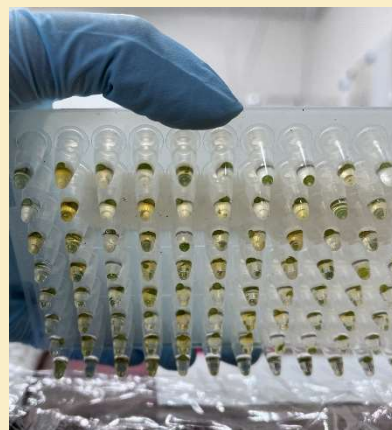
✓ 実りを支える研究の現場



出穂期を迎えた試験水田



試験ほ場で成熟したぶどう



DNA 抽出作業

水稻の出穂や果樹の成熟が進む夏は、試験研究の成果が目に見える形で現れる時期です。当センターでは、ほ場での生育・品質評価をはじめ、土壌分析や病虫害調査、DNA分析技術を活用した研究など、多様な試験研究を進めています。

現場と研究室の双方から得られた知見を生産現場へ還元し、地域農業の発展に貢献していきます。

Contents

- [研究成果] 水稻「とちぎの星」の収穫適期幅の拡大 (P2)
局所環境制御によるキクの安定生産技術の開発 (P3-4)
イチゴ萎黄病耐病性を迅速に判定できるマーカーの開発と利用 (P4-5)
- [成果速報] にら黄化腐敗症状の病原菌の特定と発生要因の解明 (P6)
りんどう新品種「栃木 r 5 号」の育成 (P7)
- [試験紹介] 水稻の節水型乾田直播栽培の技術評価 (P8)
水稻の高温ストレス軽減に向けたケイ酸施用技術 (P8)
アスパラガス高畝栽培における施工様式の影響 (P9)
夏越しねぎにおけるリビングマルチによる地温抑制 (P9)
機械利用による省力的ぶどう栽培の実証 (P10)
マイクロフォガー散水によるなしの果実障害対策 (P10)
- [トピックス] イチゴ炭疽病の薬剤感受性を調査しました! (P11)
「第21回食育推進全国大会inとちぎ」と「県民の日記念イベント」に出展しました (P12)

[お知らせ]

令和8年度農業総合研究センター公開デーは12月19日(土) 9:30~15:00 開催予定です!
詳細は随時、ホームページや各種 SNS にてお知らせいたします。 ([事前予告チラシ](#))